

降下訓練における場外（羽村市）降着について（口頭要請）

令和7年11月18日及び19日、防衛省北関東防衛局から「11月18日夕方、米陸軍兵士が横田基地所属のC-130輸送機による降下訓練において、区域外（羽村市）に着地した」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供されました。これを受け、当協議会は、国と米軍に対して、11月21日、今回の場外降着の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないことなどを要請しました。

その後、令和7年11月21日、防衛省北関東防衛局から「兵士が使用していたパラシュートの一部が羽村市内に落下していた」、「18日（火）に羽村市内に落下していたパラシュートの一部は、区域外に着地した兵士のものであることを確認し、回収しました」との追加情報が提供されました。

基地外へのパラシュートの一部の落下は、一歩間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものです。

貴職においては、このような状況を十分認識され、11月21日付で要請した内容について対応するとともに、パラシュートの一部の落下の経緯や落下物の詳細（形状や重量等）、落下場所などに関する情報を関係自治体に速やかに提供することを要請します。（※）

令和7年11月26日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
リチャード F. マックエルハニ一大佐 殿
北関東防衛局長 池田 真人 殿
横田防衛事務所長 佐々木 輝男 殿

※国に対しては、「貴職においては、このような状況を十分認識され、11月21日付で要請した内容について対応するとともに、パラシュートの一部の落下の経緯や落下物の詳細（形状や重量等）、落下場所などに関する情報を関係自治体に速やかに提供することを米軍に申し入れを行うよう要請します。」

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長	東京都知事	小池百合子	子介史
副会長	昭島市長	臼井伸大	大育泰弘
	立川市長	酒井藤崎	大山栄
	福生市長	加藤山崎	大山栄
	武藏村山市長	橋本	大山栄
	羽村市長	瑞穂町長	大山栄